

第 22 回 株式会社エフエム真岡 放送番組審議会議事録

1 開催概要

審議委員及び事務局が年初繁忙期対応の為、書類による審議を実施。令和 8 年 1 月 7 日に審議資料を配布、令和 8 年 1 月 30 日までに番組に対する意見等について返信を求めた結果、審議委員全 5 名から電子メールまたは FAX にて回答があった。

■出席委員(敬称略)

加 藤 敦 美 (真岡商工会議所 専務理事)
市 村 有 史 (真岡市 総合政策部 秘書広報課 係長)
篠 崎 勝 美 (株式会社シノザキ楽器 代表取締役)
宇賀神 久 子 (株式会社アキヤマ観光 取締役)
上 澤 宏 行 (鶴見建設株式会社 代表取締役)

2 議題

放送番組の審議

3 審議内容

- ① 審議番組 新春特別番組『広報もおか/令和 8 年 1 月号』
「特集・中村市長×真岡で活躍する若者たち」に参加された
3 人による振り返りラジオ！

放送日時：令和 8 年 1 月 1 日～3 日 11:00～11:45

出 演：筑波大学大学院：日和田 晴登 (米国グランドローラ市インターン生)

白鷗大学：森島 亜美 (FMもおかパーソナリティ)

白鷗大学：西山 日陽里 (真岡まちづくりプロジェクト 5 期生)

*司会進行・FMもおか/パーソナリティ：森島 亜美

(委 員) 市長と若者の新春対談は、毎年『広報もおか』で読んでいるが、活字や写真だけでなく若者本人の生の声を聴きながら、対談時の振り返りにより本音等を知ることができ、大変興味深かった。現代の若者に対しては、一般的におとなしいイメージがあったが、今回の出演者の皆さんは考えがしっかりしており、非常に頼もしく感じた。今後もこのような番組を編成してほしい。

(委 員) 拝聴いたしました。出演の 3 名様ともそれぞれ素晴らしい活躍であり、若いのに立派ですね。3 名友達感覚でリラックスした雰囲気、聴いていて楽しかったです。3 名それぞれ声の特徴が違うので識別ができてわかりやすかったです。FMもおかのパーソナリティの森島さんが先導して話題が広がっていて良かったです。お互い刺激しあいながら、放送の中で各自成長している感じがします。日和田さんは、大学院生ならではの素晴らしい青年ですね。頭の良さが会話でつたわります。西山さんは、真岡まちづくりプロジェクト 5 期生で先生になるとのこと、きっといい先生になりますね。時間があっという間と言っていましたが、聴いている方もそうです。森島さんの特徴ある声質は、一度聴いたら忘れません。これからも学生パーソナリティとして、FMもおかで頑張ってください。若者ならではの音楽のチョイスも新鮮でした。全体的にまとまりのある放送で良かったと思います。

(委員) 広報もおか1月号では、毎年、市民の皆さまと市長が対談していただいた内容を記事として掲載しています。今回は、中村市長が就任以来はじめてということもあり、市長が理念に掲げている「一人一役、全員主役」をテーマに企画しました。今回ご出演いただいた3名は、まさに「主役」として真岡市を舞台に活躍されている皆さまです。去年は、市制施行70周年記念事業として「もおかの未来を語り合おう」として、FMもおかでのラジオを番組企画し、ご出演いただいた方々に市長と新春対談をしていただきましたが、今回は図らずも逆の形となり、広報紙の企画からラジオ番組へ発展したことが、広報担当者としてとてもうれしく思いました。対談のときも感じましたが、3名とも市長との対談で緊張している中でも、自分の活動内容や意見をはっきりと言葉にできていたので、さらに今回の番組内では余裕すら感じられ、ハキハキとした口調に好感が持てました。森島パーソナリティも、慣れたところで二人を良くリードし、話を引き出していたと思います。お互いがそれぞれの発言や話し方に刺激を受けて、より成長していると感じられる番組でした。既に、パーソナリティのみなさんはさまざまな場面でご活躍ですが、そのような活動を通してできたご縁で番組に発展することは素晴らしいことだと思いますし、コミュニティFMならではの活動です。引き続き、多くの方々につながり巻き込んでいただき「FMもおかファン」を増やすとともに地域密着型のメディアとして、より一層市民への浸透を図っていただきたいと思います。

(委員) 広報もおか1月号の特集に合わせて、市長と対談した若者に再びラジオで話をしてもらうのは、いいアイデアだと思います。欲を言うと中村市長さんからも別途に個別の収録で構わないので若者との対談の感想を1~2分程度話していただきたかったです。広報もおかの対談は、1時間半かけて行ったそうですが、それだけ話をしてもらった後に、別日程でまたラジオに呼ぶのではなく、対談の際にラジオの録音も行い、広報ではカットされた部分も含めてラジオで流していいと思います。あるいは映像を撮りケーブルテレビで流すなど、広報とラジオ、ケーブルテレビでもっと連動させてもよいかと思います。

(委員) 地域密着型のコミュニティFMらしい、いい企画番組だと感じました。行政との連携も図りつつ、市民を主役に番組づくりをするという「プリンシパル」を守り、堅苦しくなく若者らしい内容で、クオリティの高い番組に仕上がっていました。FMもおかも5年以上経過し、地域の皆さんに徐々に浸透してきているように思います。5周年記念のイベントなども実施しているようで、色々な知恵を出しながら存在感を真岡市民にPRできれば、地域になくてはならないラジオに成長できると思います。今回の番組では、3人の個性がよく表れていて、真岡には、いろいろな若者がいるんだなと改めて感じることができました。限られた予算と人員で、出来ることに限りはあると思いますが、知恵と表現方法は無限にあると思いますので、今後の益々の発展をご祈念申し上げます。

② 放送番組審議会の次回開催について

(事務局) 次回の審議会は、令和8年4月14日(火)、13:30~

場所は、エフエム真岡会議室か市役所の会議室をお借りして開催予定。

(委員) 審議委員全員にe-mailにて連絡済。

4 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① FMもおかの放送内で告知(令和8年2月2日)
- ② 当該事項を記載した書面を事務所へ据置
- ③ 自社ホームページに掲載(<https://www.fm-moka874.co.jp/>)